

施設内の安全点検

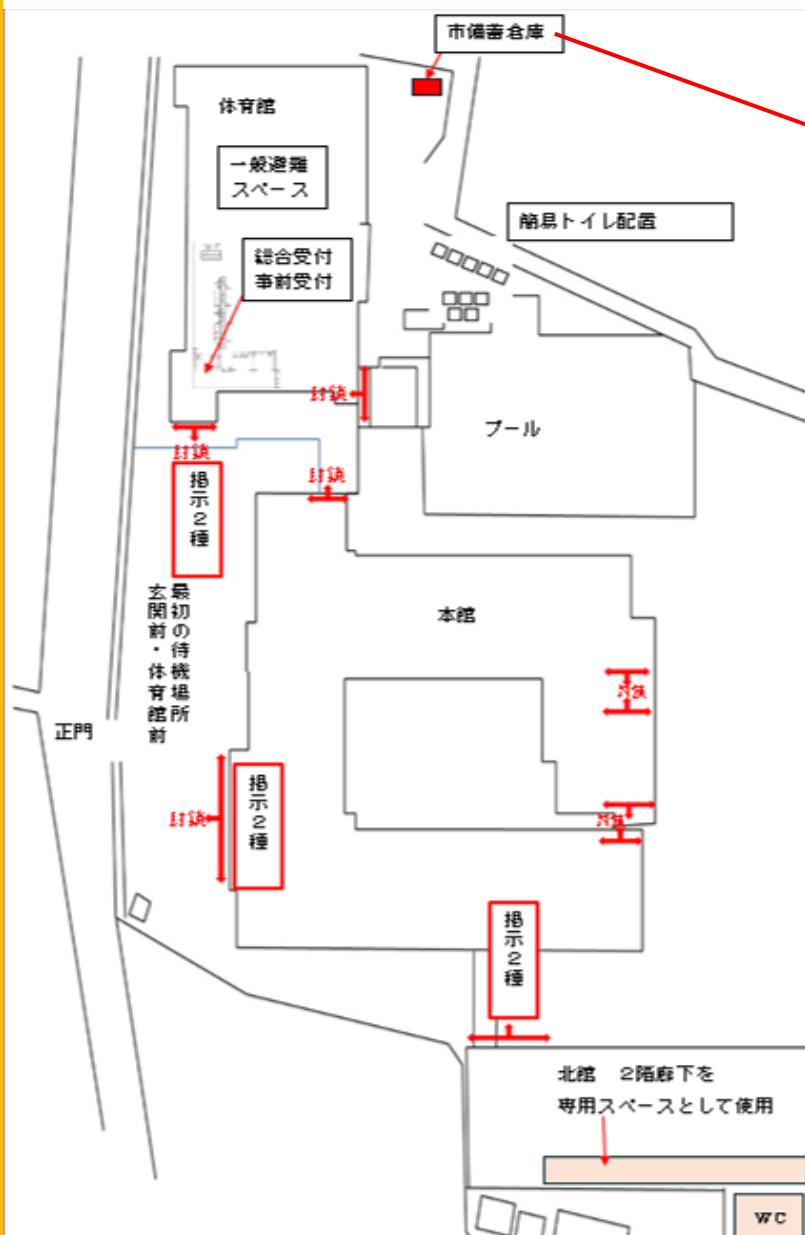
①2人で1班を編成し、4班で実施します。

第1班=体育館 第2班=体育館横トイレ建物、校舎本館の2階

第3班=校舎本館の1階 第4班=北館の1~3階

②人数が揃わない場合は、体育館、体育館横トイレ建物、北館、校舎本館の順に優先してください。

③市備蓄倉庫（又は常磐地区防災倉庫）より必要なものを取り出してください。懐中電灯、ヘルメット、軍手、鉛筆又はボールペンを1個用紙「避難所開設前の安全確認チェック表」が各班で必要です。



手順一覧	
手順1	リーダー決定
	避難所開設開始
手順2	発電機と投光器の設営
手順3	最初の待機場所に誘導
手順4	安全点検未了建物への立入禁止処置
手順5	施設内の安全点検
手順6	受付場所設営
手順7	受付への誘導 公民館への誘導
手順8	事前（保健）受付
手順9	トイレの準備
手順10	専用スペースの準備
手順11	一般避難スペース準備
手順12	総合受付
手順13	ライフライン確認
手順14	市本部連絡 本部と班の編成



④ゴミ袋もありますから持っていてください。
安全点検が済むまでは、各建物の入り口を封鎖しています。左図のこの印です



安全が確認済となれば、封鎖している「立入禁止テープ」を剥いでください。
安全が疑われた場合は、テープを張った状態とします

手順No. 5-2 ウラ面

⑤安全点検は、様式1-1【建物の外から】と様式1-2【建物の中から】の項目ごとに行ってください。

チェック項目の答えにBとCが1つでもあれば、すでに張ってある「立入禁止テープ」を残してください。剥がれていたり無い場合は、「立入禁止テープ」を張ってください。

BとCがあればリーダーに報告しますが、その旨の報告を受けたリーダーは、

様式1-1 避難所開設前の安全確認チェック表【建物の外から】

○校舎や体育館等、建物が異なるごとにそれぞれ確認する。	確認日時：202 年 月 日
○一度の調査で済ませず、定期的に（特に余震の後など）調査する。	避難所名：
	確認場所： ・本館 ・北館 ・体育館 ・その他（ ）

避難所開設前の安全確認チェック表

Cの答えが1つでもある場合は「危険」、質問1～6にBの答えがある場合は「要注意」です。避難者を建物内に入れないようにしてください。
観音寺市災害対策本部に状況報告後、観音寺市災害対策本部から指示された別の避難所や避難場所に避難者を誘導してください。

【建物の外からのチェック 1ページ】

1. 次の質問の該当するところに○をつけて下さい。		
質問1. 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化、地盤の沈下などが生じましたか？ A. いいえ B. 生じた C. ひどく生じた		
質問2. 建物が沈下しましたか？ A. いいえ B. 沈下しているように見え C. 明らかに沈下している		
質問3. 建物が傾斜しましたか？ A. いいえ B. 見た目でかすかに傾斜し C. 見た目で明らかに傾斜している		
質問4. 壁が壊れましたか？ A. いいえ B. コンクリートが剥がれて C. 壁がくずれている いる（大きなひびが入ってい る 中の鉄筋・柱が見えてい る）		

様式1-2 避難所開設前の安全確認チェック表【建物の中から】

○校舎や体育館等、建物が異なるごとにそれぞれ確認する。	確認日時：202 年 月 日
○一度の調査で済ませず、定期的に（特に余震の後など）調査する。	避難所名：
	確認場所： ・本館 ・北館 ・体育館 ・その他（ ）

○点検場所は学校の場合は普通教室、校長室、職員室、理科室、給食室等すべての部屋の確認を行い、危険箇所には危険（立ち入り禁止）の表示をし、テープ等により立ち入り禁止の措置をとる。

○ガスの匂いのある場所は、窓を開けるとともに、ガス供給会社に連絡する。

【建物の中からのチェック 1ページ】

2. 施設内部の状況について								
点検箇所 (階・部屋名)	使用可否	柱の亀裂	天井の破損	照明器具 の破損	ガラスの 破損	器具等の 散乱	特記事項 (異常など)	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無		

リーダーは、作業の結果を待っています。

班別の結果が判明次第、リーダーに報告してください！

すべての班の作業が終了したら、リーダーにこの手順書を返却しましょう。